

## 上宮寺通信

第三十二号

7年前から教誨師※を務めてい

ます。3月に東本願寺発行の機関

紙「真宗教誨」に「私の教誨」と

題した寄稿文が掲載されました。

教誨について少しでも理解してい

ただければと思います、今回は転載さ

せていただきます。

名古屋拘置所では二ヶ月に一

度ほどの集合教誨、願箋が出さ

れたときの個人教誨、彼岸の宗

教行事などの教誨活動をしてい

ます。拘置所には未決拘留中の

刑事被告人のほか、死刑確定者、

経理作業をする懲役受刑者が収

容されており、教誨は主に懲役

受刑者に対して行っています。

ただ、今年は新型コロナウイルス

の感染拡大のため、拘置所

のさまざまな行事が中止とな

り、教誨活動も中止となること  
がありました。

昨年のことですが、集合教誨

に欠かさずに出席している受刑

者にAさんがいました。集合教

誨といっても多くて二、三人、

ほとんどがAさん一人でした。

そのようなときは教誨の終わり

に子どもの頃の話や趣味の話な

ど雑談をするというのが常でし

た。

あるとき、Aさんが「先生、

もうすぐ運動会がありますから

ぜひ来てください」と声をかけ

てくれました。拘置所の運動会

には教誨師が来賓として招かれ

ます。いままで私は出席したこ

とがありませんでしたが、Aさ

んのこともあり、なんとか都合

をつけて運動会に出席しまし

た。

十月初旬でしたが日差しが強  
く、夏を思わせるような暑さの

中で運動会は始まりました。そ

んなに広くはない運動場にそれ

こそ眼光鋭い人、腕から刺青が

ちらちらと見える人などがずら

っと並んでいます。Aさんもち

ろろん運動会に参加されていま

した。Aさんは私を見つけると

ニコツと笑ってくれました。

運動会は受刑者がそれぞれの

作業係ごとのチームに分かれて

の対抗戦で、賞品も出るという

ことで白熱したものでした。日

ごろの生活ではあまり大きな声

も出せないせいか、今日こそは

ということ目指し、声も張

り上げて応援する受刑者たち。

来賓席に座っている私もつられ

て「がんばれ！」と声が出てし

まいます。

競技は様々な種目が行われま  
した。練習時間も限られている

のにチームワークのすごさに感

心しきりでした。特に盛り上が

ったのは大縄跳びです。掛け声

とともに大きく縄が振られ、息

を合わせて、制限時間内に各チ

ームが飛んだ数を競います。1、

2、3…、失敗したらまた最初

からやりなおしです。暑さもあ

り、受刑者たちも息があがつて

きます。それでも、失敗なく飛

び続けるチームがありました。

30、31、32…、見ているこち

らも力が入ってきます。数に合

わせて拍手をして、「がんばれ、

がんばれ」と声を出しての応援。

最終的に何回飛んだのかは忘れ

てしまいましたが、練習でも出

(裏面に続く)

したことのない数に拘置所の職員も驚いていました。そのチームにはみんなから拍手が送られ、会場は大きな感動に包まれました。

運動会が終わって最初の集合教誨にAさんは出席してくれました。Aさんに運動会の話を見ると、力を合わせて取り組むことのすばらしさを感じたと語ってくれました。あれから一年が経ち、この号が発行される頃にはAさんは社会へ復帰されているはずで。運動会で得たことを忘れずに、これからの人生を過ごしてくれることを切に願っています。

〔真宗教誨〕第31号より転載〕

※教誨とは、刑務所等の矯正施設において受刑者の育成や精神的救済を目的として行われる活動で、教誨を行う人を教誨師と呼びます。

## ◆話題あれこれ

○「春のお彼岸・永代経法要」にはたくさんの方にお参りをいただきありがとうございます。朝方まで残っていた雨も法要が始まる前には上がり、晴れ男の面目が保たれました(笑)。マスクの着用、手指の消毒など新型コロナウイルスの感染防止にもご協力をいただきました。ありがとうございました。

○東本願寺より日ごろの教誨活動について文章を寄せてほしいと依頼があり書いたのが上の文章です。守秘義務もあり、あまり具体的なことは書けませんでしたが、活動の一端を書かせていただきました。

○新型コロナウイルス感染拡大の第4波が心配され、まだまだ気を緩めることができません。東本願寺の春の法要(1日〜4日)や名古屋市仏教会の花まつり(8日)もかなり制限された形で行うようです。本来ならば華やかに賑やかに行われるのですが…。

○仏事についてわからないことがありましたら、何でもご相談ください。

○日によっては寒い日もありますが、体調には十分お気をつけください。



## 【雑感】

今月8日はお釈迦様の誕生を祝う「花まつり」の日です。誕生仏に甘茶をかける行事として親しまれているのですが、キリストの誕生を祝うクリスマスと比べると、一般的には馴染みが薄いのではないのでしょうか。日本は仏教国といわれるのに…。しかし、お隣の韓国では旧暦ではありますが、お釈迦様の誕生を祝日としてお祝いします。ソウルなどでは提灯行列などもあり、非常に華やかに行われるようです。韓国は仏教よりもキリスト教のほうが盛んな国。これまた不思議なことです。

(住職記)

## 【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和三十九年白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547